

第99回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第12日目 7月27日(木)

準々決勝		仙台市民球場		2時間 11分				打安点盗犠四三残失併															
東	北	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	【東】	34	10	3	1	0	1	4	5	1	0	
石	巻	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	【石】	30	7	1	2	3	0	12	5	0	0	
(球) 太田		(一) 加藤正		(二) 佐藤浩		(三) 石川		▽本塁打		なし													
【東】		古川原・葛岡		—		布施		▽三塁打		なし													
【石】		森		—		阿部太		▽二塁打		野田, 布施, 庄司 (東)													
▽暴投		なし				▽捕逸		阿部太1(石)															

【評】

東北が第1シードの意地を見せた試合だった。東北二回表4番布施の右翼線二塁打と5番千葉の中前適時打で1点先制したが、終盤八回まで石巻主戦右腕森の力投の前に追加点を奪えなかった。九回6番植木が二死走者二塁の場面で、森の135球目を中前に適時打、続く7番伊藤も中前安打を打ち加点し、準決勝進出を決めた。石巻は四回裏3番渡部の中前安打と6番阿部太一の中前安打で同点にしたが、先発古川原に要所を押さえられ、追加点を奪えなかった。その後継投した葛岡からは七、八、九回を三者凡退に打ちとられ、勝利への流れを呼び寄せることができなかった。

準々決勝		仙台市民球場		1時間 36分				打安点盗犠四三残失併															
聖	和	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	【聖】	32	9	2	0	2	4	7	9	2	0	
東	陵	0	1	1	0	1	0	1	1	0	5	【東】	31	9	4	1	1	2	3	5	0	1	
(球) 嶋田		(一) 西山		(二) 小松		(三) 毛利		▽本塁打		なし													
【聖】		高橋国		—		澤田		▽三塁打		なし													
【東】		佐藤瑞・加藤		—		三谷		▽二塁打		なし (聖)													
▽暴投		高橋国1(聖), 加藤1(東)				▽捕逸		三谷2(東)		目黒, 渡邊2 (東)													

【評】

第5シード聖和学園と第2シード東陵のシード校対決。ベスト4をかけ、両校併せて18安打を放つ打撃戦となった。先制したのは聖和学園。初回一番千葉匠が初球を左安打で出塁し2番澤田の犠打で一死二塁とすると、3番小林の中前適時打で1点を挙げた。追いかける東陵は2回、5番角田が四球で出塁し6番目黒の右中間適時二塁打で同点とした。3回、二死から3番渡邊が中安打で出塁すると暴投で二死二塁とし、4番佐藤瑞の中前適時打で逆転した。その後も5・7・8回に1点ずつを加え試合を決めた。聖和学園は主戦高橋を中心に最少失点で切り抜けてきたが、攻撃面であと一歩及ばず惜敗した。

準々決勝		石巻市民球場		1時間 56分				打安点盗犠四三残失併															
仙	台	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	【三】	32	6	0	0	1	1	11	5	1	0	
仙	台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	【仙】	30	6	0	0	2	2	6	7	1	0	
(球) 野田		(一) 菅原久		(二) 小室		(三) 安部		▽本塁打		なし													
【三】		木村		—		岩渕		▽三塁打		本明(三)													
【仙】		佐藤隼		—		笹口		▽二塁打		なし (三)													
▽暴投		佐藤隼1(仙)				▽捕逸		なし		なし (仙)													

【評】

好投手佐藤を擁し、15年ぶりのベスト4を目指した仙台高校であったが、4回表、内野安打の川合を1塁に置き、カウント2-3から3番岩渕のライト前ヒットで川合は3塁を陥れた。ライトからの送球が逸れるのを見て川合は一気にホームイン。さらに9回、仙台三の4番本明に初球を痛打され、左中間三塁打を浴び、暴投により1点を献上。仙台高校は4度も好機があったがものにする事ができず、11奪三振と好投した佐藤を援護できなかった。仙台三は4年ぶりのベスト4となり、悲願の初優勝まであと2勝となった。

進々決勝		石巻市民球場		2 時間 16 分				打安点盗犠四三残失併															
仙	台 育 英	0	0	1	1	0	2	1	3	0	8	【仙】	34	14	8	1	7	5	0	11	1	1	
黒	川	0	2	0	0	0	0	0	2	0	4	【黒】	29	7	4	1	2	5	5	5	2	1	
(球) 雁部 (一) 高橋正 (二) 三浦 (三) 金												▽本塁打										なし	
【仙】 長谷川・佐川・西巻 一 渡部												▽三塁打										長谷川, 西巻(仙)	
【黒】 早坂勇・相澤 一 鴫田												▽二塁打										鈴木, 小川 (仙) 相澤, 岩城 (黒)	
▽暴投 早坂勇2(黒)																						▽捕逸 なし	

【評】

先制したのは黒川。2回裏、連続安打で1死2、3塁から7番小林の内野ゴロで1点、続く8番鴫田の投前スクイズが決まり2点を先制したが、育英は3回表に4番佐川の適時打、4回表は1番西巻の犠飛で同点に追いつき、6回表には代打小川の2塁打で逆転、8回表には黒川の敵失に安打を絡め8点目をあげた。黒川は8回裏に四球と連続安打で2点をあげたが及ばず、育英は3人の投手リレーで準決勝進出を決めた。